

あらかわ

荒川市民センターだより

発行 青森市荒川市民センター
〒030-0111 青森市荒川字柴田 129-1
TEL 017-739-2343
FAX 017-739-2343

講座レポート

男の料理教室

～ビールに合うおうちイタリアン～ (7/18)

7月18日(金)講座「男の料理教室～ビールに合うおうちイタリアン～」がありました。講師は、ATV「わっち!!」で「わっち the キッチン」木曜日の『パパッと一品&スイーツ』を担当している管理栄養士の渡辺直子さんです。“男の料理教室”と題した年2回ある講座の初回で、8名の男性が参加しました。

今回のメニューは、「人参ときゅうりのリボンサラダ」「茄子のガーリック焼き」「ロスティ(じゃがいもの細切りをカリカリになるまで焼いたもの)」「パスタパエリア」の4品で“男の料理教室”ならではの様々な工夫が随所に見られました。①「人参ときゅうりのリボンサラダ」では、素材をリボン状にスライスするためにピーラーだけを使う作業工程の工夫。②「茄子のガーリック焼き」では、縦に6等分した茄子を皿に並べ、ニンニクをベースにしたソースを先に塗り、電子レンジで3分間加熱後に、フライパンで両面を焼く時短と美味しさアップの工夫。③「ロスティ」では、通常切ったじゃがいもは、水にさらしますが、細切りにしたじゃがいもが早く焼き固まるよう、デンプンを多く残すために水にさらさない調理法の工夫。④「パスタパエリア」は、お米高騰の今、パスタ(棒状のスパゲッティ)を3cm程に細かく折って、お米の代用とするタイムリーな素材の工夫など…。それは、本講座のコンセプトが『手軽に素早く美味しく』だから。

渡辺講師から「オリーブオイルはフライパンに入れてから火を付けると香りが出ます。」などのアドバイスや声掛け、事前に配付したレシピの効果もあり、余裕をもって4品が完成しました。盛り付けが終わり、いよいよ実食の場面。渡辺講師から

「皆さん、今日の料理のテーマは“ビールに合う”でしたね。ということは？」もしかして…。さすがに本物はよくないので、キンキンに冷えたノンアルビールで「乾杯!」の後、美味しく料理を頂きました。猛暑日にふさわしい渡辺講師からのサプライズに参加者は感謝感激!ビールに合うイタリアンを実感した料理教室でした。



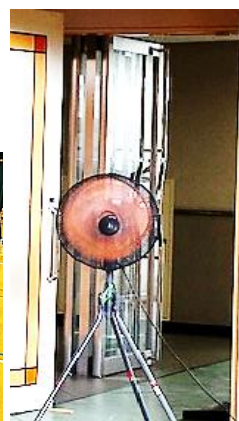
ロスティ(左)と講評をしながら食事する参加者(右)

市民センターから

灼熱の多目的ホールの救世主

沖縄より暑い、今年の青森の夏・・・暑くても運動がしたいと、多くのサークルや団体が多目的ホールを利用されます。外への扉を開けると、熱風・・・

職員でどうにかならないかと思案して、思い出したのが「大型扇風機」以前、冬期に暖房のサーキュレーターがわりに使用していて、倉庫の隅に眠っていたものです。冷房の効いた、1階ロビーの冷気を多目的ホールに送る作戦!!!完璧に冷えるわけではないのですが・・・利用者からは、運動しやすかったというお声もいただき、少しは熱中症対策になっているのではと思っています。とは言え今年の夏は、まだまだ暑いようです。熱中症に気をつけながら、ご利用いただけたらと思います。



ロビーの冷気を取り込み(右)利用者へ送る大型扇風機

今年の「昭和 100 年」にちなみ、7 月 31 日（木）「昭和 100 年記念」暮らしを変えた昭和の家電」という講座を開催しました。男性 6 人（小学生 1 人）、女性 6 人の計 12 名が受講しました。講師は、県立郷土館主任学芸主査の増田公寧さんです。増田講師は、太い針金を緯線と経線が交差するように球体にした中心にプロペラがある昭和 40 年に日立が製作した“風手毬”^{かぜてまり}という実物の扇風機を紹介し、まだ自動首振り機能はないが、球体なので、台座への置き方次第では、自由に風向を変えられるアイディアとフォルムの美しさに「昭和の家電」の魅力がある、という導入から始まりました。



日立の“風手毬”

「昭和の家電」の全ては紹介できないため、前半は、いわゆる「三種の神器」（白黒 TV、洗濯機、冷蔵庫）と掃除機の普及と変遷について、後半は、暮らしを変えた昭和の家電と題し、主食と副食の家電＝電気釜とトースターなどの家電の変遷について、クイズ形式や講師自前の実物のトースターを使った実際の調理を通して、家電の知識を楽しく学びました。昭和 34 年の NHK 青森 TV 放送開局前に北向きの高いアンテナが青森市内の飲食店にあったのは、函館放送局の電波を受信するためだった。東芝とナショナルの電気釜競争が激しかった。白黒 TV の画面に装着するとカラーになるという三色フィルムが販売された…など。

特に、青森県が東京都や他の東北 5 県と比べ、洗濯機、掃除機、電気釜の普及率が低かったのは、「冷蔵庫は人では冷やせないから買うけど、洗濯は女性がやればいい。」

「掃除は主婦の聖域。機械にやらせるとは、もってのほか」「手間をかけて飯を炊くのが女の仕事。寝ている間に炊こうなんて怠け者の証」など、女性蔑視とも言うべき家事に対する封建的な考え方が、「家電は女性を甘やかす道具」という意識を生み、購買力を妨げた事実に驚きました。「我が社のライバルは他社ではない。このようなお客様の意識である。」と言った当時のサンヨー電気社長の言葉が示すように「家電は時代を映す鏡」を実感した講座でした。



増田講師の調理の実演を見守る受講者



お勧め講座・イベントのご案内！ (10～11月)

羊毛フェルトでハンドメイド
～クリスマスフレーム～

開催日：10 月 18 日（土）10：00～12：00
場 所：会議室 A
対 象：中学生以上
講 師：羊毛フェルト・レジン作家 齊藤 由紀
定 員：10 人
受講料：2,000 円
準備物：なし
※手作りのフレームで
クリスマスをお祝い！



スマホ活用教室～防災編～

開催日：11 月 6 日・13 日（木）
場 所：会議室 A
対 象：18 歳以上
講 師：ソフトバンク株式会社
スマホアドバイザー 佐藤 暁子
定 員：15 人
受講料：無料
準備物：筆記用具
※もしもの時に役立つ、
スマホで防災対策！



編集後記

市民センターでの講座やサークル活動が、盛んに開催されています。市民の皆様の明るく元気に楽しそうに、学習活動に取り組む姿が溢れています。今後も親しみやすい紙面作り取り組み、より有意義な学習情報の発信に努め、市民の皆様の学習活動を支援してまいります。

〈取材・編集〉

青森市中央市民センター 1F
青森市生涯学習推進員室
TEL 017-734-0164（内線 36）
荒川市民センター担当：田中、奈良原